

# ながまち荘

VOL 47

だより



年男の小野さん。元旦は  
触れ太鼓を鳴らしながら  
皆さんのお部屋を廻って  
くださいました!



ご利用者の作品です。  
がわいらしいですね!

## 編集発行

社会福祉法人 済生会支部山形県済生会 特別養護老人ホーム **ながまち荘**

〒990-0811 山形市長町751番地

- 指定介護老人福祉施設 TEL(023)684-2391 (代表) FAX(023)684-2394
- 指定短期入所生活介護事業所 TEL(023)681-5732
- 指定通所介護事業所 TEL(023)681-7589
- 済生会なでこ地域包括支援センター TEL(023)681-7450 (代表) FAX(023)681-7603
- 指定居宅介護支援事業所 TEL(023)681-2865
- 認知症初期集中支援チームおれんじサポートチームえがお TEL(023)687-0200 FAX(023)687-0211

発行責任者 施設長 峯田 幸悦

発行日 令和2年3月

印刷 コロニー印刷

E-mail nagamachiso@yamagata-saiseikai.org



## 施設長挨拶



特別養護老人ホームながまち荘  
施設長 峯田 幸悦

令和も二年になり三ヶ月が経ちました。昨年中は当荘の取り組みにご理解、ご支援を頂き誠に感謝申し上げます。今年も開設して三十周年を迎える節目の年になります。これまで地域の皆様、関係者の皆様に支えられ、今日を迎えられます事を重ねて御礼申し上げます。改めまして記念誌や行事等を通して挨拶させて頂きます。また、今年と云えばいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。多くの海外の方が訪れると共に、グローバルな日本としてより活躍できる事も祈念しております。

さて、ここでグローバルな話題につなげてですが、当荘では昨年12月19日に新たに二名のインドネシア人介護職が加わっております。アディブという男性と、リスキという女性になりますが、実は女性の方は現在当荘で努めておりますアグス(平成27年度生)の妹になります。新しい二人はデイサービスにおりますので、どうぞ温かい目で見守って頂ければ幸いです。また、もう一つグローバルに関連してですが、現在、世界では「SDGs」という貧困や環境破壊等、17の社会課題をなくしていく為の取り組みが行われております。その輪は年々広がりをを見せており、もちろん当法人である済生会でも積極的に事業を進めております。是非、「SDGs」を覚えて頂ければと思います。

最後になりますが、現在、当荘では近年の多発する水害に備えて2階建ての避難棟建物の増築を計画しております。馬見ヶ崎川を近くに構える環境として、確かに普段は水量が少ないですが、気候条件が昔と違う事を考えると決して油断はできません。平屋造りである当荘としては、なるべく早期に着手出来るように進めているところであります。どうぞ、今後も看板の一つでもある自立支援介護と併せながら、入居者、家族、地域の皆様方が安心して頂ける施設作りを励んでいきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

## D-WAT活動報告

初めに、昨年10月に発生した台風19号により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
10月20日から23日まで、全国老人福祉施設協議会からの災害派遣福祉チーム(D-WAT)派遣要請を受け、埼玉県川越市にある特別養護老人ホームにて活動してまいりましたので、ご報告させて頂きます。

活動内容は「緊急避難入居者の介護全般」でした。被災した特別養護老人ホームから8名の避難者を受け入れている施設に入り、現場の介護職員と一緒に入居者の支援に当たりました。災害により手薄な職員体制の中、被災者の受け入れに尽力している現場の一員として、自分も少しでも貢献できたのであれば幸いです。

実際に被災した施設の様子も見学させて頂きましたが、平屋の建物ですぐ近くに川があるなど、当荘と同じような環境であり、災害の悲惨さを見て身の引き締まる思いでした。今回の経験をこれからの当荘の防災に活かしていけるよう、日頃からの防災意識の向上や訓練等に役立てていきたいと思います。

介護職員 伊藤 雄太



事務所内の様子



事務所の受付カウンターの上まで水が押し寄せたとの事

## 新しい仲間を迎えました♪

12月19日、EPA(経済連携協定)に基づく介護福祉士候補者2名(男性1名、女性1名)が当荘に仲間入りしました。今回入職したのはインドネシア人のアディブ、フジャ ウィチャクサナさん(24歳)と、リスキ ウィディアヌル チャサナさん(23歳)。愛知県豊田市の研修施設での6ヶ月間及び日本語研修を終えて来県しました。この日は前日からの支部・各施設回りを終えて、夕方当荘に到着。すつと緊張していたお二人でしたが、正面玄関ホールで大勢の皆さんの熱的な歓迎を受けて笑顔が戻りました。

アディブさん、リスキさんのお二人はまずはデイサービスに配属され、これから3年半にわたり働きながら「日本語」、「介護技術」を習得。国家試験受験に必要な、実務経験年数を満たす3年後の令和5年1月の介護福祉士国家試験にチャレンジします。

当荘におけるインドネシア人介護士は、現在山形済生病院回復期リハビリテーション病棟に在籍し向中のアンガ、ルスマヘンドラさんを含め、これで8名。これからも素敵な笑顔で頑張りますので、みなさんどうぞよろしくお願ひ致します。



アンガさん

アディブさん

リスキさん

## 介護者教室

11月10日、当荘利用者のご家族様や地域住民の皆様に向け、介護者教室を開催しました。前回の介護者教室開催時、参加者より「次は運動について知りたい。」との声が上がっており、今回は「自宅でできる高齢者の運動について」というテーマで、作業療法士の井上よりお話をさせて頂きました。近年の介護保険における体操と、自立支援の重要性や、日頃の運動の必要性を具体的に説明することにも、実際に「ツイスター」で行っている体操と、今年度より積極的に進めている「二肢訓練3点セット」と呼ばれる機器を用いた機器訓練を体験して頂きました。

終了後のアンケートより、体を動かすことの大切さなどいろいろ勉強になった。体操を家でもやってみよう。介護のために参加したが自分のためにもなった。来年も期待している...等、好評の声をいただきました。

今後も、積極的な運動を行い、「機能改善」元気になる「ツイスター」を目指し、自立支援を応援していきます。どうぞ宜しくお願い致します。



## なでしこGGクラブ

山形県済生会では、イオンと提携し、シニア世代を対象にした健康講座「なでしこGGクラブ」を定期的に開催しており、これまでに、済生病院の医師や、施設職員による講話やフィットネスを実施し、参加者の皆様にはご好評をいただいております。

今回は、2月14日にイオン北店一階フードコートにて、当荘の理学療法士である伊藤が「腰痛予防」について講座を行いました。講座内では、腰痛と姿勢の関係性、日常生活場面で気を付ける事、腰痛を予防するストレッチ等について話をさせて頂きました。実際に体操を行っている際には、参加者だけでなく、近くのフードコートで休まれていた方も一緒になって体を動かして下さっている場面も見られました。また、講座終了後には、参加者の方から「痛みが少し和らいだみたい。家でも体操してみようと思う。」との嬉しい言葉をいただきました。今後も「なでしこGGクラブ」はイオン北店にて開催して参りますので、ご興味のある方は是非ご参加ください。



「ブランド ジェネレーション」の略で、  
若々しく年を重ね、豊かな人生を  
楽しんでいるシニア世代  
と言う考え方で。

「GG」ってなに?



## デイサービス (通所介護)

新春餅つき大会開催!  
あゆしよ!!!



なつかしいなあ  
自然と笑顔になる  
皆さんです。



ガブッ!!



獅子舞

今年も健康に  
過ごせますように



もちろん運動も  
欠かしません!!



午前中の活動を、運動メインの内容に  
切り替え約1年...

- ★ 通院時に、歩行器が必要なくなった!
- ★ 杖だけで歩けるようになり、家族に褒められた!

など、運動の効果にお喜びの声が届いており、職員一同も大変嬉しく思っています。

今後も“元気になるデイサービス”  
を目指して頑張ります。

## ショートステイ (短期入所)

今年も職員一同力を合わせて元気になる介護に努めてまいります! よろしくお願い致します!

毎年恒例の縁起物

峯田施設長の獅子舞



書き初め



私、昔お習字  
やってたのよー



～令和2年元旦の風景～

目つぶってね



むずかしいなあ

お正月といたら福笑い

お正月だから特別に♡

おとそいただきました



もっと  
ついでー!!



## ホーム (長期入所)

敬老会 (R1.9.8)



夫婦一緒の  
食事はおいしいわ



敬老の日を皆でお祝いしました。敬老会の後はご家族様と一緒に食事会も開催しました。

南広場クリーン大作戦&焼き芋を食べよう企画 (R1.11.25)



一面茶色の庭に緑が戻りました



今年も様々な活動を通し、入居者の皆さんが楽しく過ごして頂けるよう努めてまいります。

ホーム・ショート・デイサービス合同クリスマス会 (R1.12.12)



誰か遊びに  
来てくれました



豆まき (R2.2.1)



鬼さんと仲良く記念撮影!

クリスマスカードの用意もばっちり★



## ケアフォーラム

最優秀賞、優秀賞 受賞!!

12月1日 山形済生病院 健康増進センターめぐみにて、山形県内の済生会施設によるケアフォーラムが開催されました。

外部の審査にて、計7施設から8チームの研究発表があり、最優秀賞(1チーム)と優秀賞(2チーム)が決められます。

当荘からは、ホームとショートステイの2チームがエントリーしました。

ホームは、元気になる介護の基本に立ち返り、入居者様の願いの実現に取り組み、優秀賞を受賞しました。

ショートステイは、オリジナルのリハビリ体操「うさかめ体操」を考案し、ご利用者様の健康増進を目指した取り組みを行い、最優秀賞を受賞することができました!審査員の方より「ぜひ、ながまち荘だけではなく、他施設や地域にも広がる活動にしてほしい」と講評を頂きました。昼食前を中心に、口腔体操もあわせて実施していますので、どうぞいつでも見学にいらして下さい。





## 『認知症について考える市民セミナー』への協力

山形市が毎年開催する“認知症について考える市民セミナー”において、11月16日、おれんじサポートチームに所属する認知症地域支援推進員が認知症の予防や支援に関する取り組みについて発表を行いました。



支援に関する取り組みでは、“認知症サポーター養成講座”の紹介とともに地域ごとのサポーター数をお伝えしました。この講座は、認知症の方を理解して見守り、支援する認知症サポーターを養成することで、認知症になっても安心して暮らせる街を市民の手でつくることを目指すものです。認知症サポーターが増えれば、認知症の方を温かく見守る人が多い“優しい街”につながることを説明を聞いた参加者から『認知症サポーターの取り組みは大事だと実感しました』という感想を頂きました。

続いて“認知症カフェ”に関する取り組みでは ある認知症カフェを紹介し、物忘れのある方や認知症に理解のある人が集う“地域にある居場所”としての機能や認知症サポーターもカフェ・スタッフとして活躍されていることを報告しています。

セミナー当日は、認知症サポーターなどの協力スタッフを含めた約200名の市民の方が参加されました。今後も、より多くの方に認知症について正しく理解していただくとともに、認知症の方に優しい街 山形市となるように、関係機関と連携して普及啓発活動に取り組んでいきたいと思ひます。

い草を縛るところから、染色、デコレーションまで行いました。



入居者様の作品2020



### 苦情報告

令和元年度につきましては、相談やお問い合わせ等はございましたが、苦情は寄せられませんでした。  
 気になる点がございましたらお気軽にご連絡いただけますと幸いです。

フレ！フレ！日本！  
 5色の  
 オリンピックシンボルが  
 完成！

### 編集後記

年が明け、数カ月経ちましたが、年号の「令和」もすっかり生活に馴染んでまいりました。

令和2年7月に、ながまち荘は開設して30周年を迎えます。この30年の間に、変わった事もありますが、変わらずにあり続けた大切な想いもたくさんあります。これまでの出来事を思い返すと時間が足りず、ご利用者様、ご家族様、地域の方々と歩んだこの30年が、いかに長い月日であったかを実感するとともに、これまで当施設に携わって下さった皆様のご理解とご協力、数々のご支援に感謝の念が堪えません。

今後も地域に根差したより良い介護を目指し職員一同邁進して参りますので、変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員／岩崎勝也、後藤順子、三浦真澄、佐藤郁恵、長岡真弓、伊藤雄太、高見友郁  
 鈴木貴子、齋藤仁美、大場智子